

沖縄周辺海域におけるクロマグロの体長等組成及び漁場位置の推移 (日本周辺高度回遊性魚類資源調査委託事業)

松尾 和彦

1 目的

沖縄周辺海域では、毎年4～6月頃にクロマグロが産卵のため来遊し、漁場が形成されることから県内外の延縄漁船が集中して操業している。沖縄周辺海域のクロマグロの漁獲データを収集・解析し、効果的な操業に役立てることを目的に1992年から継続的に調査を実施している。

2 材料及び方法

2006年4～6月に糸満新港で水揚げを行ったマグロ延縄船のクロマグロの尾又長を雌雄別に測定した。

体重（消化管、鰓及び生殖腺が取り除かれたもの）は水揚げ時に荷受業者が測定する際、立ち会って記録した。操業位置は船主又は船長より聞き取り調査を行った。本年は4月から7月初旬まで調査を行った。全体の漁獲量は糸満新港で実測したものと漁獲統計システムにより収集したデータを用いた。

3 結果と考察

1) 船籍

2006年4～6月に糸満新港で水揚げを行ったマグロ延縄船の船籍は宮崎県籍：46隻、鹿児島県籍：3隻、熊本県籍：2隻、三重県籍：2隻、高知県籍：1隻、和歌山県籍：1隻、沖縄県籍：3隻であった。

2) 尾又長・体重組成

2006年（4月16日～6月28日）の糸満新港全体での水揚げは、4月が10尾、5月が175尾、6月が427尾、合計612尾であった。測定した612尾のうち、雄は292尾、雌は285尾（不明35尾）であった。雌は195～200cmと210～215cm付近にモードがあるが、雄は220～225cmにモードがあり、雄の方が大型である（図1）。

測定したクロマグロの月ごとの尾又長及び体重組成を図2及び3に示す。4月の尾又長は189～213cm平均尾又長は197cm、体重116～190kgで平均体重は153kg、5月の尾又長は177～276cmで、平均尾又長は208cm、体重104～293kgで平均体重は167kg、6月の尾又長は184～252cmで、平均尾又長は216cm、体重105

～292kgで平均体重は181kgであった。

2004年から2006年までの尾又長組成の推移を図4に示す。最大のモードは2004年214cm、2005年210cm、2006年223cmで認められた。行縄ほか（1967）によれば、本種は8歳で約197cm、9歳で約209cm、10歳で約218cmに成長するとされており、本年の223cmは11年以上の個体であると思われる。

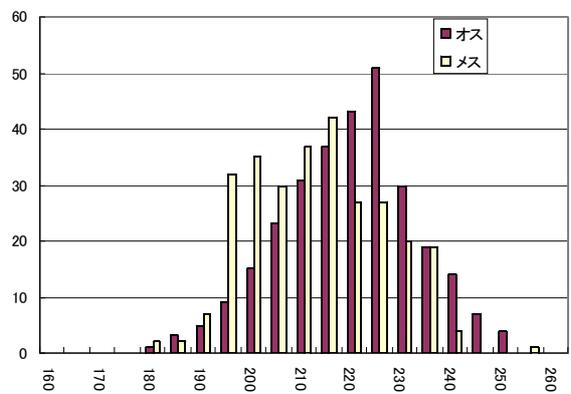


図1 雌雄別体長組成

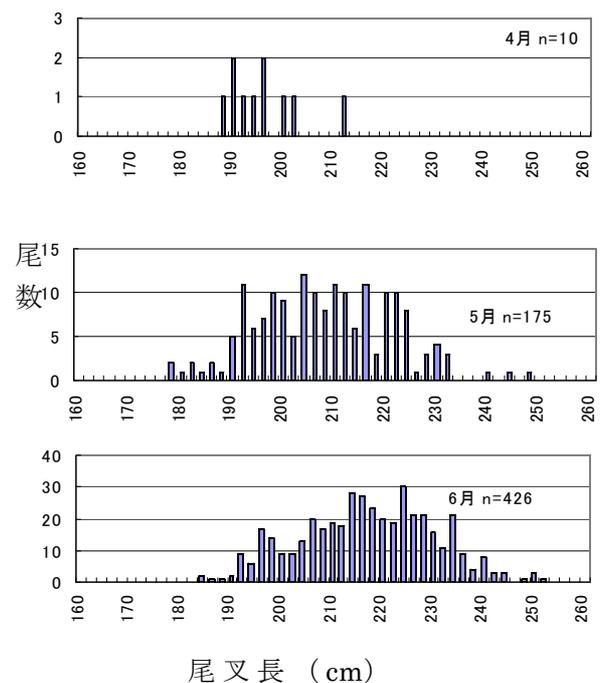


図2 月ごとの体長組成

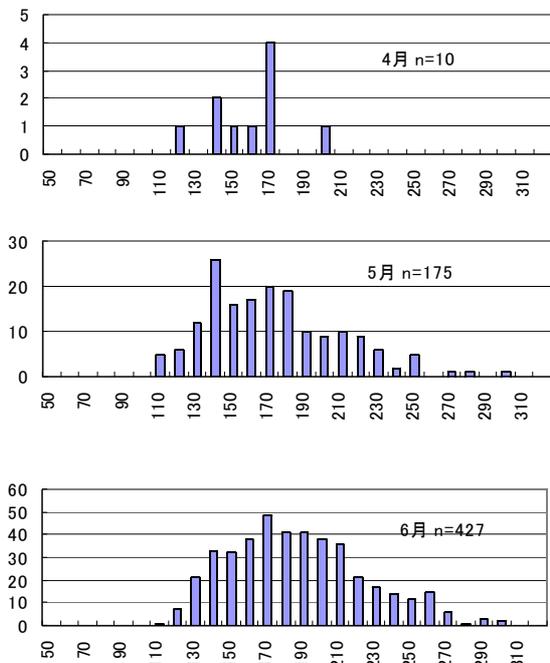


図3 月ごとの体長・体重組成

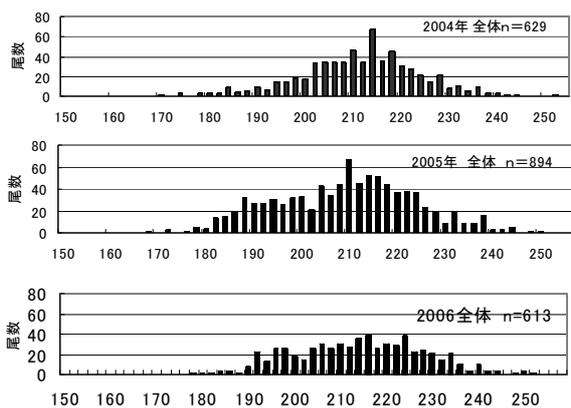


図4 年別体長組成

3) 漁獲量

図5に沖縄県の主な漁港（糸満新港，県漁連市場，那覇地区漁協市場，糸満漁協市場）のクロマグロの水揚げ量の経年変化を示す。2004，2005年に比べて大きく減少している。

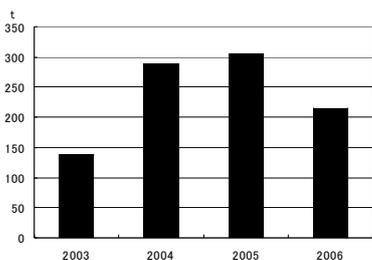


図5 クロマグロの漁獲量

全国的にも同様に2004，2005年から漁獲が減っていることが、平成18年度のまぐろ・かじき類調査報告書で報告されている。

4) 漁場

本年は例年より若干，盛漁期となる5月，6月に漁場が広範囲に分散した。また，漁場の季節的な移り変わりとしては例年どおり，沖縄島の北東～東の海域から始まり，最後に沖縄島の南西の海域に移っていった(図5)。

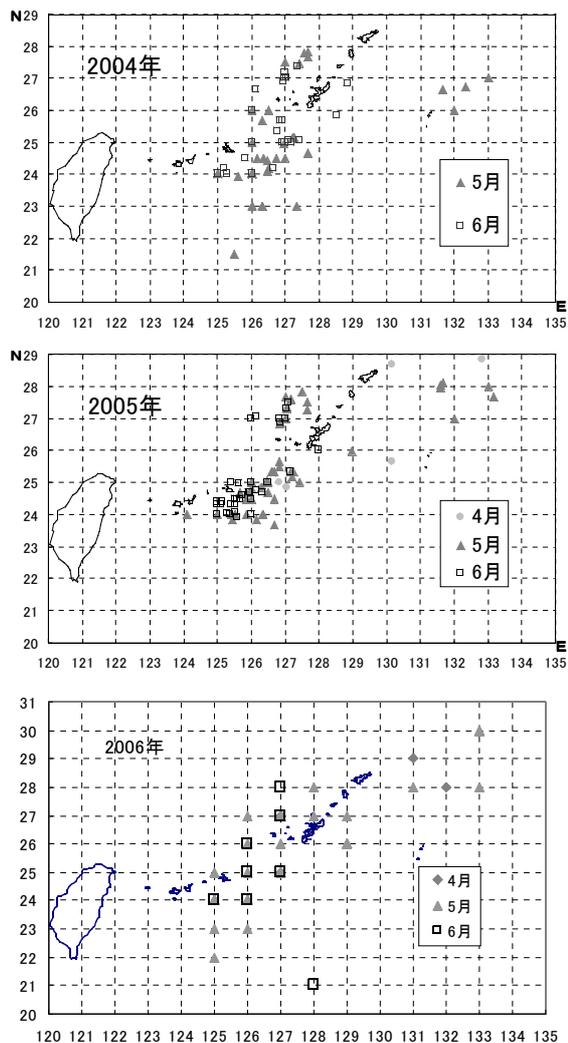


図6 漁場分布

文献

行縄茂理，藪田洋一，クロマグロ *Thunnus thynnus* (Linnaeus) の年齢と成長について．南海水研報，1967；(25)，10-16

まぐろ・かじき類調査報告書．平成18年度日本周辺高度回遊性魚類資源調査委託事業報告会資料，2006；147-182